

FAX 06-6233-3111

創元社

https://www.sogensha.co.jp/

〒541-0047大阪市中央区淡路町4-3-6 TEL 06-6231-9010

【東京支店】〒101-0051東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル TEL 03-6811-0662



※担当者名が未記入の場合、取次店都合で配本がなくなる可能性があります。

担当者名

年 月 日

☆締め切り日を過ぎた場合は注文扱いで出荷

コーナー：古典芸能

落語

ノンフィクション



条件：新刊委託
四六／並製／240頁



ページ見本



※本文データは制作中のものにつき変更の可能性があります。ご了承ください。

死を笑う

落語とむらゐ

高橋繁行著／本体2,200円

ISBN 978-4-422-23046-7 C0039

長年葬祭を研究してきた著者が、死やとむらゐにかかわる落語を取り上げ、江戸落語と上方落語を対比しながら、その背景にある江戸から昭和初期の葬送の習俗や文化、精神性を解き明かす。実際にあった珍しい葬式や歌舞伎狂言の怪談話などを紹介するコラムも交え、多くの切り絵が楽しさを添える。あの世とこの世の垣根をいとも簡単に乗り越える落語の変幻自在な世界へ！

著者略歴

高橋 繁行（タカハシ シゲユキ）……1954年、京都府生まれ。ルポライターとして葬式、笑い、科学、人物を主要テーマに取材・執筆。高橋葬祭研究所を主宰し、死と弔い関連の調査、研究、執筆を行う。雑誌『SOGI』で「弔いの系譜——仏教・民俗」を約10年間連載。絵・イラストを描き、切り絵の個展を何度も開催。著書に『ドキュメント 現代お葬式事情』（立風書房）、『葬祭の日本史』（講談社現代新書）、『看取りのとき——かけがえのない人の死に向き合う』（アスキー新書）、『寺・墓・葬儀の費用はなぜ高い?』（飛鳥新社）、『死出の門松——こんな葬式がしたかった』（講談社文庫）、『お葬式の言葉と風習——柳田國男「葬送習俗語彙」の絵解き事典』（創元社）、『土葬の村』（講談社現代新書）、『近江の土葬・野辺送り』（サンライズ出版）、創作絵本『いぶきどうじ——オニたんじょう』（みらいブッキング）など。

目次（抜粋）

一 江戸落語編

『猫怪談』おめでたくなるハナシ／『道具屋』与太郎と江戸の葬式事情／『粗忽長屋』お江戸SF不条理落語／『黄金餅』欲にくらんでお布施と焼き賃を踏み倒す／『片棒』冥土ゆき早桶の片棒かつぎ／『寿限無』言葉の呪縛から解放されたデタラメ経文／『真景累ヶ淵』落語中興の祖・円朝、背筋の凍る怪談／『野ざらし』しゃれこうべの恩返し／『お血脈』地獄が空っぽになった！／『品川心中』心中の道行きに、いろを着る／『付き馬』江戸のとむらゐビジネス、早桶屋／『死神』ぞっとするゝ死神商売。／『らくだ』（江戸版）死体が躍るとむらゐ騒動記

二 上方落語編

『らくだ』（上方版）落語でわかる東西焼き場事情／『では吉』『辻占茶屋』心中しぞこない 二話／『いもりの黒焼き』千日前墓所の都市伝説／『地獄八景亡者戯』大スペクタクル！ あの世ご案内ツアー／『饅頭こわい』（上方版）こわい話がながながと続く／『片袖』幽霊断その一 住吉町いとはんの幽霊／『幽霊鮎』幽霊断その二 実在の鮎屋をモデルに／『天神山』立て続けの恩返し／『まめだ』三津寺さんに伝わるタヌキ供養譚／『七度狐』キツネのだまし方研究／『けんげしゃ茶屋』言霊の魔力／棺桶作家鶴屋南北1 『法松松成田利剣』／ABESADAファルスと湯灌考／霊柩カタログ／千日前墓所2 死刑囚の盛装／名人桂文吾の珍葬式……ほか

既刊

お葬式の言葉と風習

本体2,000円 978-4-422-23041-2



注文冊数

冊

コーナー：心理学

臨床心理学

カウンセリング

条件：新刊委託
A5／並製／予144頁

受注締切：4月30日／搬入予定：5月15日

感情処理法で心がすっきりするノート

不快感情を減らし
人生を豊かにする15のワーク

倉成宣佳著／本体予価1,700円

ISBN978-4-422-11839-0 C0011

感情処理法とは不快感情を減らすための方法であり、セルフケアのためのストレス対処や自身の性格改善などに広く活用されています。本書は、はじめて感情処理法を学び実践しようとする人に活用してもらうための本です。第1部では理論編として、感情処理法を実施するために必要な知識を説明します。第2部の実践編では、具体的なテーマごとに感情処理に取り組むための、書き込みながら実践する15のワークを体験できます。

著者略歴

倉成 宣佳（クラナリ ノブヨシ）……博士（学術）、臨床心理士・公認心理師・産業カウンセラー。（株）メンタルサポート研究所代表、山の手クリニックカウンセラー、長崎大学医学部客員研究員、NPOこころサポート理事長、社団法人メンタルヘルス協会副理事長。医療機関で交流分析や感情処理法を使ったカウンセリングを行うかたわら、カウンセラーの養成にも注力し、200名のカウンセラーが所属する（株）メンタルサポート研究所のトップを務め、動画によるメンタルヘルスケア『こころのミカタ』サービスを提供、刑務所で感情処理法や交流分析、認知行動療法を活用したプログラムを作成・実施するなど、活動は多岐にわたる。主な著書に、『カウンセリングに活かす「感情処理法」』（創元社、2023年）『交流分析にもとづくカウンセリング』（ミネルヴァ書房、2015年）『いじめで受ける心の傷とその対処法』（倉成央典義、チーム医療、2009年）、『性格を変えるための認知行動療法ノート』（倉成央典義、大和出版、2021年）などがある。

63刷ロングセラー／

こころが晴れるノート

本体1,200円 978-4-422-11283-1

既刊

注文冊数

冊

FAX 06-6233-3111

創元社

https://www.sogensha.co.jp/

〒541-0047大阪府中央区淡路町4-3-6 TEL 06-6231-9010

【東京支店】〒101-0051東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル TEL 03-6811-0662



※担当者名が未記入の場合、取次店都合で配本がなくなる可能性があります。

担当者名

年 月 日

☆締め切り日を過ぎた場合は注文扱いで出荷

コーナー：芸術

美術

受注締切：4月21日／搬入予定：5月8日

どうやって美術品を守る？ 保存修復の世界をのぞいてみよう

ファビエンヌ・マイヤー、ジビュレ・ヴルフ著／マルティナ・レイカムイラスト

田口かおり監訳／中村智子訳／本体4,500円

ISBN 978-4-422-70149-3 C0071

美術館では、何百年も前の美術品が色褪せぬ姿を私たちに見せ、感動を与えてくれるのはどうしてでしょう？ 本書は、美術品の劣化を防ぎ、汚れを取り除き、傷を補修して次世代に継承する「保存修復」の仕事を、愛らしいイラストと豊富な写真とともに紹介する、これまでにないビジュアルブックです。ストーリー仕立てで読みやすく、美術ファンが思わずニヤリとするようなパロディも。美術鑑賞がさらに楽しくなること間違いなしです。

監訳者略歴

田口 かおり（タグチ カオリ）……修復家。博士（人間・環境学）。専門は保存修復学、美術史、表象文化論。京都大学大学院人間・環境学研究科准教授。フィレンツェ国際芸術大学で絵画の保存修復を学んだのち、市内の修復工房に修復家として勤務。その後、東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター研究員、文部科学省卓越研究員、東海大学教養学部芸術学科准教授などを経て、2023年4月より現職。近現代美術の保存修復や調査のほか、展覧会コンサバターとしても活動中。著書に『保存修復の技法と思想——古代芸術・ルネサンス絵画から現代アートまで』（平凡社、第七回表象文化論学会賞受賞）、『タイムライン——時間に触れるためのいくつかの方法』（this and that）、『絵画をみる、絵画をなおす 保存修復の世界』（偕成社）などがある。

注冊数

冊

コーナー：自然科学

受注締切：4月24日／搬入予定：5月12日

聞くのが楽しくなる 耳のひみつ

今泉忠明監修／植木美江イラスト／本体2,500円

ISBN978-4-422-41182-8 C0047

あなたの耳、調子悪くありませんか？ 現代では耳を酷使する機会が増えており、耳の役割についての理解がますます重要になっています。耳の機能や聴覚情報の多さ、動物との違いなど、耳に関するさまざまな疑問に答えながら、耳のしくみや役割についてくわしく解説しています。鮮やかなイラストや図解と写真を用いながら、耳の進化や歴史、心理的な側面などにも触れ、子どもと大人がいっしょに楽しめる知識本となっています。

著者略歴

今泉 忠明（イマイズミ タダアキ）……1944年東京生まれ。東京水産大学（現 東京海洋大学）卒業。国立科学博物館で哺乳類の分類学・生態学を学ぶ。文部省（現 文部科学省）の国際生物計画（IBP）調査、環境庁（現 環境省）のイリオモテヤマネコの生態調査などに参加。上野動物園で動物解説員を務める。主な著書に『アニマルトラック』（自由国民社）、『動物たちの「衣・食・住」学』（同文書院）、『進化を忘れた動物たち』（講談社）、『地球絶滅動物記』（竹書房）、『野生ネコの百科』（データハウス）、『かわいいネコには謎がある』（講談社）、『行き場を失った動物たち』（東京堂）、『珍獣学入門』（幻冬舎）、『山と森の動物たち』（朝日出版社）など。他に図鑑LIVE 『動物』、『危険生物』（Gakken）、『ざんねんないきもの事典』（高橋書店）など監修書籍多数。

植木 美江（ウエキ ヨシエ）……グラフィックデザイナーを経てフリーイラストレーターに。どこか懐かし、あたたかなタッチで、書籍の挿絵や月刊絵本などで活動中。著書に『7色野菜の便利図鑑』（幻冬舎）がある。音の印象を描くワークショップを開催している。本書の案内役・白ウサギのモデルとなった4歳のウサギと暮らしている。

既刊

見るのが楽しくなる 目のひみつ
本体2,500円 978-4-422-41181-1

シリーズ続刊

・食べるのが楽しくなる	口のひみつ	2025年7月
・嗅ぐのが楽しくなる	鼻のひみつ	2025年9月
・知ると楽しくなる	毛のひみつ	2025年11月
・動かすのが楽しくなる	手のひみつ	2025年12月

※タイトルは現時点のものであり、変更することがございます。

注冊数

冊

コーナー：社会

受注締切：4月30日／搬入予定：5月15日

パルマコン・ミクロス10

〈ていねいな暮らし〉の系譜

花森安治とあこがれの社会史

佐藤八寿子著／本体2,700円

ISBN 978-4-422-70180-6 C0036

羨望と同時に嫉妬をもかきたてる〈ていねいな暮らし〉は、現代日本特有の文化なのだろうか。あるいは近代化におけるリスペクタビリティや現代のSDGsなどと比較される普遍的・世界的な傾向なのだろうか。戦前戦後と一貫した美意識をもち『暮らしの手帖』を創刊した花森安治の足跡から、松浦弥太郎や無印良品の中華圏における流行、コロナ禍における生活スタイルの見直しまで、連続と続く〈暮らし〉へのあこがれの社会史を追う。

著者略歴

佐藤 八寿子（サトウ ヤスコ）……1959年東京生まれ。1982年上智大学文学部国文学科卒業。ミュンヘン国際青少年図書館勤務などを経て、2002年京都大学教育学研究科博士後期課程学修認定退学。2011年より文化サロンKollegium Kyoto主宰。著書『ミッションスクール あこがれの園』（中公新書、2006年）。共著書『ヒトラーの呪縛—日本ナチ・カルチャー研究序説』（中公文庫、2015年）ほか。佐藤卓己との共訳書に、G・L・モッセ著『大衆の国民化—ナチズムに至る政治シンボルと大衆文化』（ちくま学芸文庫、2021年）、G・L・モッセ著『ナショナリズムとセクシュアリティ—市民道徳とナチズム』（ちくま学芸文庫、2023年）など。

既刊

※パルマコン・ミクロスシリーズ好評発売中。同封の注文書で在庫のご確認をお願いします。

注冊数

冊



条件：新刊委託
B4変／上製／82頁



条件：新刊委託
A4変／上製／72頁



条件：新刊委託
四六／並製／288頁